

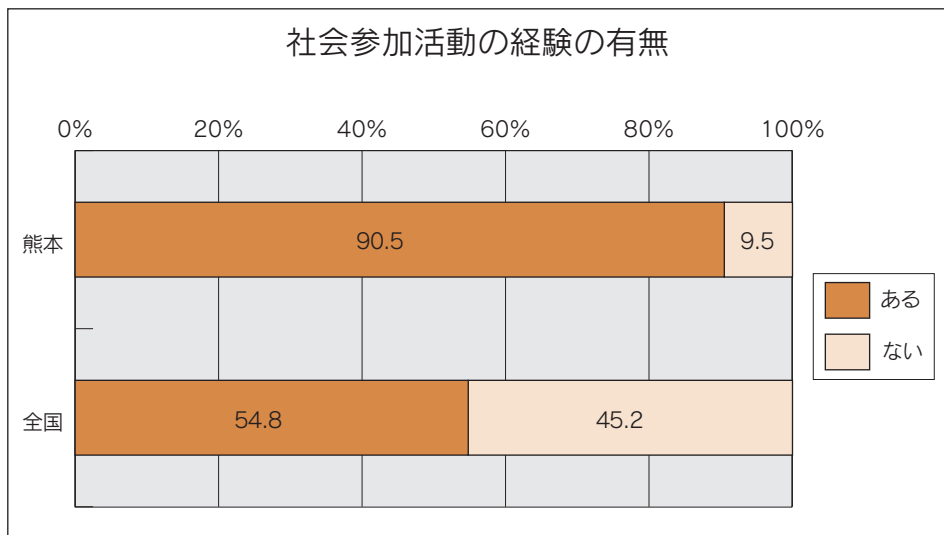
## ① 高齢者の健康づくりと社会参加の支援

### 現状と課題

多様な価値観を持つ団塊の世代が本格的に高齢者の仲間入りをする<sup>1</sup>ため、高齢者がその知識や経験、技能を活かし、自身の生きがいや健康づくりとともに、地域貢献活動や就労といった社会参加活動を通じて、地域のリーダーや担い手として活躍することが期待されています。

熊本県の高齢者は、全国に比べて、積極的に社会参加活動に取り組む傾向があります<sup>2</sup>。老人クラブの加入状況を見ても、全国平均を超える加入率<sup>3</sup>となっています。

その一方で、高齢者が地域貢献活動に参加するためには、「一緒に活動する仲間がいること」や「参加を呼びかける団体、世話役がいること」をあげる人が多い現状があります。このため、参加のための環境整備をさらに進めていく必要があります。



<sup>1</sup> 総務省統計局「国勢調査（平成 17 年）」によれば、本県における団塊の世代（1947～1949 年生まれ）の人口（推計）は約 138,000 人で、全人口に占める割合は約 7.6%となっています。

<sup>2</sup> 平成 15 年度に内閣府が実施した「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（65 歳以上 n=2,860）及び平成 20 年度に熊本県が実施した「県政モニター」（60 歳以上 n=74）によります。

なお、両調査の実施時期や標本数、標本の年齢範囲が異なるため、単純に比較できるわけではありませんが、傾向としては指摘できると考えています。両調査を比較したこれ以降のグラフは同じ認識に基づいています。

<sup>3</sup> 総務省統計局「推計人口」（各年度 10 月 1 日現在）及び厚生労働省「福祉行政報告例」（毎年度末現在）

本県の高齢者の就業率は全国と比べても低い状況<sup>4</sup>にある中で、高齢者の就業については、生計を立てるために必要な就労から、生きがいを得るためのものまで、幅広い形態の雇用・就労機会を確保・提供する必要があります。

## 目指すべき方向

### ● 高齢者の地域貢献活動の推進

地域で活躍する場や機会を広げるため、地域貢献活動に取り組む（財）熊本さわやか長寿財団や（社）熊本県老人クラブ連合会等への支援を進めながら、参加しやすい環境をこれまで以上に整えた上で、高齢者の地域貢献活動を推進していきます。

地域貢献活動を行う際、時間や期間にあまり拘束されないことを条件に挙げる高齢者が少なくない<sup>5</sup>ことから、参加者にとって負担感のないように配慮する必要があります。

### ● 高齢者の就労促進の体制整備

高齢者が持つ知識や経験、技能を仕事に活かすために、ハローワーク等労働関係機関と連携を図りながら、高齢者無料職業紹介所やシルバー人材センターでの取組みを通じて、多くの高齢者を就労に結びつけることができるように支援していきます。

### ● 「ねんりんピック<sup>ふれ愛</sup>2011熊本」の開催を通じた健康づくりや生きがいづくり

「第24回全国健康福祉祭くまもと大会（ねんりんピック<sup>ふれ愛</sup>2011熊本）」が平成23年に本県で開催されます。

今後、この大会の開催を通じて、高齢者における健康づくりや生きがいづくりの機運がいつそう醸成されるように開催準備を進めます。

---

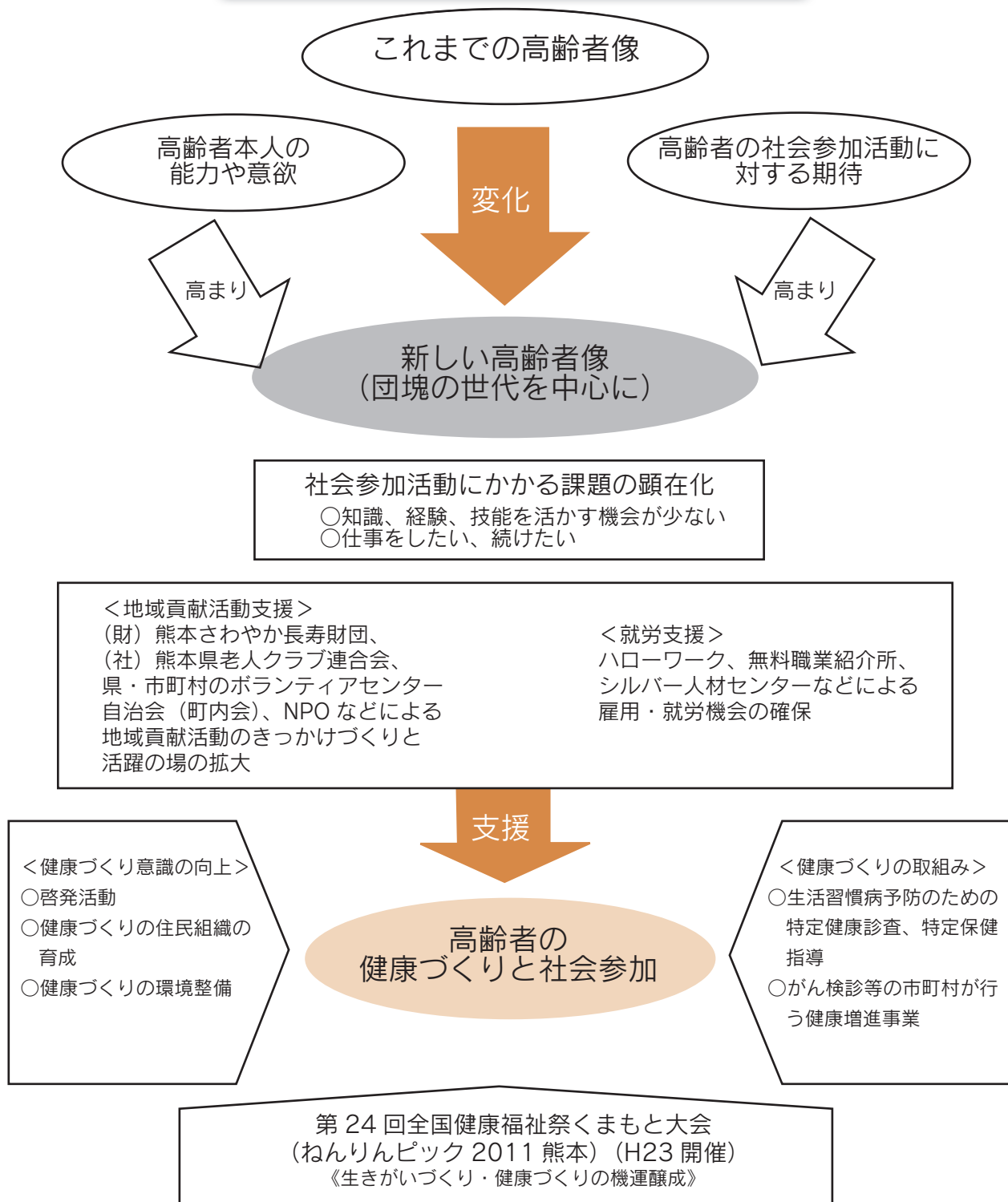
<sup>4</sup> 総務省統計局「国勢調査（平成12年、17年）」

<sup>5</sup> 平成20年度に熊本県が実施した「県政モニター調査」（60歳以上n=74）では、社会参加活動を行なうための必要な条件として、最も多かった「一緒に活動をする仲間がいる」の次に「あまり拘束されないこと」があがっています。

● 高齢者の健康づくりの推進

高齢者が人生の最期まで健康を保持し、介護を必要としない自立した生活を送ることができるよう、適度な運動、バランスのとれた食生活や十分な休養、仲間とのふれあいなど、調和のとれた生活を送り、生活習慣病等の疾病を予防し、さらに悪化しないようにすることができる環境づくりを進めます。

高齢者の健康づくりと社会参加の支援



## 主要な施策

### ● 高齢者の地域貢献活動の推進

#### ■ (財) 熊本さわやか長寿財団の活動推進

(財) 熊本さわやか長寿財団に対する支援を通じて、高齢者が地域貢献活動に参加するきっかけを整えていきます。

具体的には、財団が実施している熊本さわやか大学校<sup>6</sup>、高齢者スポーツ・文化の集い、あるいは熊本さわやか知恵袋制度<sup>7</sup>の運営等を通じて、高齢者の活躍の場を拡大していきます。

#### ■ 老人クラブ活動の推進

(社) 熊本県老人クラブ連合会に対する支援を通じて、高齢者の皆さんが地域貢献活動に参加するきっかけを整えていきます。

具体的には、各地域の老人クラブの主導のもと、シルバーヘルパーによる友愛訪問活動<sup>8</sup>や子供見守りパトロール<sup>9</sup>等実績を重ねているものに加え、コミュニティビジネス<sup>10</sup>等のメニューを広げながら、老人クラブ活動の更なる推進によって、高齢者の活躍の場を拡大していきます。

特に、熊本県の高齢者は、環境美化や緑化推進、あるいはまちづくり等への関心が高いため、老人クラブがこれらの分野に取り組むことよって、高齢者の活躍の場がさらに広がっていくと予想されます。

---

<sup>6</sup> 教養講座、体験講座等を中心に、高齢者の「生きがい再発見」・「仲間づくり」・「社会参加」の促進を図るとともに、高齢社会のリーダーを育成するため、平成4年度から開講しているものです。

<sup>7</sup> 高齢者の方々が培われてきた知識や技術等を登録していただき、それを地域社会の中で有効に活用していただく制度です。

<sup>8</sup> 高齢者が安心して生活できるよう、シルバーヘルパーがひとり暮らしや虚弱な高齢者を訪問して、見守りや声かけなどを行うものです。

<sup>9</sup> 子どもの安全・安心を守るため、登下校時間帯の声かけやパトロール活動を行うものです。

<sup>10</sup> 市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決していくものです。

<数値目標>

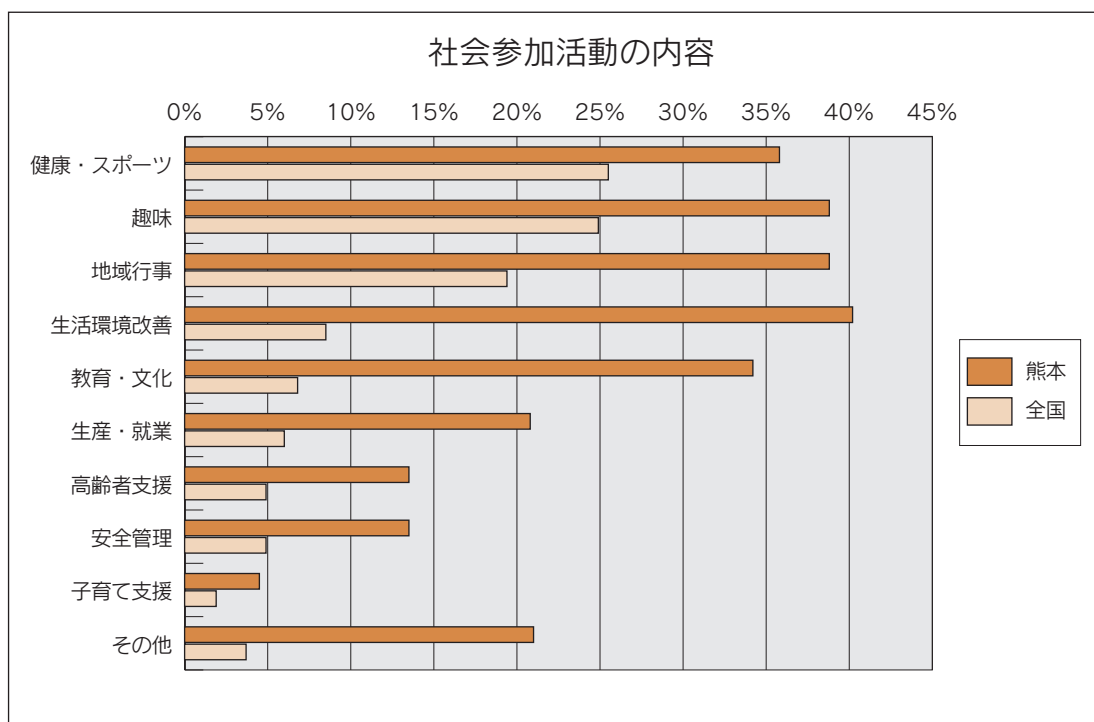
友愛訪問活動を行うシルバーヘルパーの新規養成数

単位：人数

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
1,400	1,400	1,400	1,400

健康づくり事業を実施する市町村老人クラブ数（全 47 クラブ）

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
27	34	41	47



■ ボランティア活動の支援

住民の支え合いの意識を高めるとともに、地域福祉を担う人材を育て、その活動を支援する体制の整備を進めています。

県内の市町村ボランティアセンターに登録されているボランティアを 15 万人にする目標に加えて、ボランティアをコーディネートしたり、活動を引っ張っていくリーダーを育成するなどして、支援することとしています。

＜熊本県地域福祉支援計画（地域ささえ愛プラン） P59 ＞

地域には、すでにボランティアリーダーやボランティアコーディネーター、民生委員、NPO や社協等多くの地域福祉活動の担い手があります。

今後は、その人達が地域福祉を支えるキーパーソンとしてさらに機能を発揮できるように養成や活動の支援を行っていきます。

## ● 高齢者の就労促進の体制整備

### ■ 相談員の資質向上

高齢者の多様な就業ニーズを的確に把握して、きめ細やかな職業紹介を実施するため、ハローワーク等関係機関との連携を図りながら、高齢者無料職業紹介所において、多くの高齢者を就労に結び付けることができるよう、求職と求人を適切に結びつける相談員の資質向上を図ります。

### ■ 多様な形態の雇用確保と新規の職場開拓

正規雇用や長期の就労に加えて、地域に根ざした臨時的・短期的または軽易な就業メニュー等、多様な形態による雇用・就業機会を確保していきます。

さらには、無年金者や低年金者等の低所得高齢者を念頭に置いた就労の斡旋や職場の新規開拓にも努めます。

### ＜数値目標＞

高齢者無料職業紹介所を通じた就職者数

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
558	580	610	630

## ● 「ねんりんピック<sup>ふれ愛</sup>2011熊本」の開催を通じた健康づくりや生きがいづくり

60歳以上の高齢者を中心に健康増進や社会参加、世代間交流の促進を目的とした「第24回全国健康福祉祭くまもと大会（ねんりんピック<sup>ふれ愛</sup>2011熊本）」を、平成23年10月に本県で開催します。

この大会の開催によって、高齢者の健康づくりや生きがいづくりの機運が一層醸成されるように準備を進め、更なる高齢者の社会参加に努めます。

## <数値目標>

ねんりんピックの参加者数

大会参加者 (選手・役員等)	延べ参加者数 (イベント参加者・観客含む)
10,000	500,000

## <大会概要>

名 称：第24回全国健康福祉祭くまもと大会

愛 称：ねんりんピック2011（ふれ愛）熊本  
（ねんりんピック「ふれあい」くまもと）

主 催：厚生労働省・熊本県・財団法人長寿社会開発センター

テ ー マ：火の国に 燃えろ！ねんりん 夢・未来

会 期：平成23年10月15日（土）～18日（火）

実施事業：ゲートボール、グランドゴルフ等高齢者が親しみやすい競技や高齢者の健康づくり、生きがいつくりに関するイベントを県内各地で開催



「ASO坊健太くん」は、県民の健やかな生活習慣の定着を目指す「健やか生活習慣くまもと」県民運動のイメージキャラクターとして、平成20年3月に全国公募により選定されました。

ねんりんピック2011熊本でも、「ASO坊健太くん」は、大会マスコットとして高齢者の健康づくりと生きがいつくりのため、一生懸命応援します。

## ● 高齢者の健康づくりへの支援

### ■健康長寿を目指した日常生活・生活習慣のための取組みの充実

高齢者が自らの健康状態と生活習慣を振り返り、バランスのとれた食生活等、健康長寿を目指した日常生活を送ることができるよう、医療保険者が実施するメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査の受診率の向上や特定保健指導の充実に努めます。

さらに、市町村が行うがん検診や健康教育、健康相談等の市町村健康増進事業の充実に努めます。

＜熊本県健康増進計画（第2次くまもと21ヘルスプラン） P55 ＞

メタボリックシンドロームの該当者・予備群を早期に発見し、日常生活の改善を促すことで、生活習慣病の予防を図っていくことが求められており、・・・生活習慣病の総合的な対策としてヘルスプロモーションの理念に基づいた、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチが分断されることのない連続した取組みを推進します。

### ■活動的な高齢者

生きがいを持ち、自分らしい生き方を実感できるような「活動的な高齢者」を目標に、地域支援事業<sup>11</sup>による介護予防一般高齢者施策やいきいきサロン事業等の充実に努めます。

また、地域住民主体の健康づくり活動の定着を目指すために、住民参加型による健康づくり、生きがいづくりを推進します。

特に、本県は全国と比較して、高齢者の社会貢献活動への取組みが活発であることを考えると、ボランティア活動を通じた健康づくり、生きがいづくりによって、活動的な高齢者が増えていくことが期待できます。

<sup>11</sup> 地域支援事業とは、平成18年4月の介護保険法の改正によって新たに設けられた事業で、要支援、要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合にも、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを行う市町村の事業です。

<関連事業>

●明るい長寿社会づくり推進事業

(財)熊本さわやか長寿財団に対して助成を行い、熊本さわやか大学校や高齢者スポーツ・文化の集い、熊本さわやか知恵袋制度等を通じて生きがい、健康づくりを進めるものです。

●老人クラブ活動推進等事業

熊本県老人クラブ連合会や市町村老人クラブ連合会に対して補助することで、老人クラブ活動等のより一層の活性化を図るものです。

●元気はつらつシルバー活動応援事業

老人クラブの活動費を助成する市町村に対して補助することで、老人クラブにおける生きがい、健康づくりの活動を一層進めるものです。

●高齢者いきいきかがやきボランティア活動推進事業

元気な高齢者が、ひとり暮らしや体の弱い高齢者を訪問する「友愛訪問活動」を推進していくため、熊本県老人クラブ連合会への委託等により、訪問活動を行うシルバーヘルパー及びそのリーダーとなる高齢者を養成するものです。

●高齢者能力活用推進事業

高齢者の職業相談・紹介及び求人開拓を図るため、高齢者無料職業紹介所を設置し、(財)熊本さわやか長寿財団に運営を委託するとともに、各地域振興局に高齢者能力活用推進員を配置するものです。

●高齢者総合相談センター運営事業

(財)熊本さわやか長寿財団への委託により、高齢者総合相談センターの運営を行い、高齢者及びその家族が抱える各種の心配ごと、悩みごとに関する相談に応じるものです。

●老人週間行事

県内最高齢者及び年度内に100歳に到達する方を訪問し、記念品を贈呈することで、長寿を祝うものです。

●熊本県ご長寿かがやきよかライフ表彰

県内に在住する100歳以上の高齢者の方の中から、年齢にとらわれず、いくつになっても現役意識を持ち続け、自分が持つ潜在的な能力や可能性を追求し、社会との関わりを持ちながら、心身ともに健康で、自分らしくかがやいて自立した生活を送っていることを「かがやきよかライフ」として、その実践者を表彰するものです。

○県ボランティアセンター事業費補助（主管：健康福祉政策課福祉のまちづくり室）

県ボランティアセンターを運営する県社会福祉協議会に対し補助することで、市町村ボランティアセンターへの支援やボランティア活動に参加しやすくするための体制整備を図るものです。

○地域のちからおこし事業（主管：健康福祉政策課福祉のまちづくり室）

少子高齢化の進行により、地域福祉を支える担い手が今後不足していくことを踏まえ、地域がもっている“ちから”（資源や人材）を掘り起こしながら、支え合いに活用していく新しい仕組みづくりを進めるものです。

○市町村健康増進事業（主管：健康づくり推進課）

市町村に対して補助することで、壮年期から高齢期までの健康づくりと生活習慣病の予防や早期発見（健康手帳、健康教育、健康相談、歯周疾患検診等）を図るものです。

○食生活改善推進員連絡協議会活動支援（主管：健康づくり推進課）

食生活改善推進員活動に対する支援を行い、子どもから高齢者まで健康的な食生活の実現を図るものです。

○<sup>ハチマルニイマル</sup>8020推進員育成事業（主管：健康づくり推進課）

県や市町村と協力して、歯科保健に関する知識の普及・啓発活動を行い「8020運動」の推進を図るため、歯の健康づくり活動を行う住民ボランティア等を育成するものです。

○シルバー人材センター事業（主管：労働雇用総室）

市町村シルバー人材センターの運営費等を助成する市町村及び熊本県シルバー人材センター連合会に対し運営費の一部を補助することで、市町村シルバー人材センターを一層活発化するものです。